

無双？そんなの知らん

茶々猫乃

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

あらすじ

?? 不定期投稿、駄文注意??

アンチ、ヘイトは一応

目次

転生の時

1

転生の時

くある神殿く

足をバタバタとばたつかせる少年がいた、少年の目の前には沢山の書類どう見ても労働法基準を満たしていない

少年が仕事をしている、異質で異常だ。

するとそこに………

トコトコと足音がする、少女の手には出来立てのコーヒーを持っていた。少年が仕事をしている部屋の中へ入るとコーヒーの香ばしい香りが部屋の中を充満する。

少年は少女の方を薄笑いを浮かべながら振り向く

「ああ、コーヒーなのか。もうそんな時間なのかゆかり」

ゆかりと呼ばれた少女はこう答える。

「はい、もう人間界では夜間に入ってから数時間

経ってます」

「そうかい、じゃあコーヒーを貰おうかな」

そう少年は少女に言うと言葉立てのコーヒーを片手に持ちながらゆつくりと飲んで

いく。

「ああ、そうだ。ゆかり転生してきてよ」

唐突だ、先程の会話から分かる通り此処は人間界ではない。神界である、しかし神様に着いている天使はそんな唐突には転生を予告されない。

「それは趣味ですか？」

ゆかりはイラつきを見せながら少年に聞く。

「いや、違うよ。君は元々憑依転生者だっただろう、だから主神殿がねそろそろ時期だから行って来いってね」

「転生を様式はどのようなもののですか？」

と溜息をつきながら少年に聞く少女がいた。

そう転生には色々な様式がある。例えばオリ主、踏み台転生、憑依転生といった王道のようなもの、他にはモブ転生、悪役転生といった非王道転生がある。少女はそれどれなのか少年に問うと答えは直ぐに返ってきた

「ああ、憑依転生ね。僕の好きなキャラにさせてもらうからね」

やはり天使になる前の頃と同じ転生方法であった、天使になる前に憑依した者といえはISの簪、緋弾のジャンヌなど様々であったが今回はどうなるのだろうか

「ああ、キャラクターね。最近好きになったネギまの楓も良かったんだけど結月ゆかり

だよ」

「は!? 歌えとそもそもその世界にいないよね？」

「大丈夫だ、問題ない」

満面の笑みを浮かべる少年、なんかキラキラしてるし

「他にも言うことあるんだけど説明するね」

〜少年説明中〜

要点だけ説明すると

1 転生する世界はハイスクールD×D

2 立場は一人暮らしの学生でお金は定期的に仕送りがある

3 特典は引き継ぎと神器

特典の引き継ぎって何? って聞かれると困るね。最初転生した時に憑依したエヴァ

ちゃんの闇魔法にISがない世界だから工業能力が上がりやすいとか様々けれども、2

4 回目にも憑依したアルペジオのキリシマの持つクラインフィールドとかORTの能力

もあるからね

「ああ、チートだつて? 大丈夫ある程度の制限付けるから。あと神器なんだけどさ、

仁義なき天秤にしたから、効果は相手の強さの2倍までのしか出せないって言う制限系

神器」

なんとも一気に動きやすくなってしまった

「そろそろ時間だから行ってきてねバイバーイ」

少年いやアルトはそう告げる

私の目の前は真っ暗になった。